

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○		どの時間帯においても、利用者様と職員がマンツーマンで支援できる環境を整えております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			玄関前に段差はありますが、身体的なハンディキャップを持つ利用者様がご利用されるとなった時には、スロープの設置等を検討予定です。事業所内については段差はなく、支援スペースと職員室の大きく2フロアに分けています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		衛生面に関しては毎年、社内研修や集団研修で最新の情報を取り入れております。活動空間は個別のニーズに合わせ、パーティションで個室空間を作るなど、療育の目的に応じて変化させています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		個別支援計画だけでなく、日々の業務・イベントなどの企画でPDCAサイクル表を設け、ねらいや目的を確認し振り返りを行うことで、次の活動につなげています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年欠かさず公表を行っております。またいただいたご意見は株式会社クラ・ゼミ全体で共有し、改善に向けて取り組みをさせていただいております。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、	○		⑥同上	

		その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			第三者の外部評価ではありませんが、福山地域の「クラ・ゼミ」3校舎で互いにチェック・評価を行っております。また、社内評価システムの元で健全な運営を行っております。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		提携先の(財)発達支援研究所の研修や、職員レベル別の研修に参加しております。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		毎支援ごと行うフィードバックや面談等の情報を事業所全体で共有し、利用者様理解を深めながら計画を作成しております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		初回面談時のアセスメントシートや、年度ごとに行う「子どもの強さと困難さアンケート」(SDQ)など、社内で統一されたアセスメントツールを使用しております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別療育という当事業所の特性を活かし、保護者様、お子様、事業所の3視点で目標設定を立てております。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		ケース会議、事業所内ミーティング、支援記録、計画更新時の面談等を通して、支援内容や方向性を確認し、振り返りをしながら進めております。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		⑬同上	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		⑬同上	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		月に1度程度、小集団での活動を提案させていただくなど、状況に応じた支援の提供をしております。	利用者様の状況を鑑み、他事業所の斡旋を行っております。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼・夕礼を行い、利用者様情報や支援の役割分担など、必要な時には適宜、ミーティングを行っております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		⑰同上	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		株式会社クラ・ゼミとして内部監査を毎年行っております。また、月末にも必ずセルフチェックを行っております。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直し必要性を判断している	○		計画更新や変更時には面談を行い、計画の評価、現状の共有を行い、見直しに繋がっています。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者並びに担当支援員が参加しております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	当事業所の見学はいつでも可能にし、利用者様の様子が知れるようにしております。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			該当利用者様はございません。 該当ケースがある場合には、積極的に連携の機会を設けます。
関係機関や保護者との連携	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			㉓同上
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		㉒同上	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		㉒同上	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		利用者様の選択肢の一つとして事業所を紹介していただいたり、連携がとりやすい環境を整えております。	

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		現状、実施できておりませんが、当事業所以外の関係機関の斡旋を行っております。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		㉑同上	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		療育の内容によっては、保護者様同伴で支援に参加していただき、お子様との関わり方や声掛けの方法、ご家庭での在り方などアドバイスさせていただいております。	
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		初回契約時に利用者様の状況に合わせた具体的な金額を用いながら説明させていただいております。また、イレギュラーがあった際にも、納得いただける説明を心掛けております。	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画作成時には、適切で丁寧な説明を心掛け、同意を得て支援を実施いたしております。	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		㉑同上 場合によっては、事業所内相談、家庭連携を行い、サポートさせていただいております。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		㉑同上
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		営業時間帯はいつでも対応できるようにしております。また校舎入口に苦情窓口を掲示しております。	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSや当社HPを活用し、事業所の様子や行事予定などの告知を行っております。	
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きのロッカーを使用し、個人情報の保護に努めて	

				おります。また、社内研修において職員の意識向上を図っております。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個に応じた対応を行っております。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		当事業所の見学はいつでも可能にし、利用者様の様子が知れるようにしております。現状はコロナ禍の為、希望がありましたらオンライン等で検討いたします。
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルは事業所入口に置き、常時閲覧可能にしてあります。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月防災訓練を1回以上実施しております。また年間でスケジュールを組み、利用者様と一緒に訓練を実施することもございます。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		ご契約時に確認させていただいております。また日々のフィードバックなどから定期的に把握を行っております。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内だけでなく、ブロック内の校舎でヒヤリハットを共有し、事故防止に努めております。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年外部の研修を受講しております。さらに社内でも独自の研修を行っております。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束について重要事項説明書や運営規定、個別支援計画にも明記させていただいております。社内でもマニュアルを策定しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山校

保護者等数（児童数）：3 回収数：3 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2			1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2		1		・通われているお子さんたち含め、過ごしやすそうに見える。	身体的なハンディキャップを持つ利用者様がご利用されるようになった時には、スロープの設置等を検討予定です。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2			1		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1		1		情勢に応じながら、要望がございましたらオンライン開催などの工夫の上で交流を実施していきます。
保護者への説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3				・何にしてもいつも丁寧に話頂けて安心できる	

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1	1		1		療育の内容によっては、保護者様同伴で支援に参加していただき、お子様との関わり方や声掛けの方法、ご家庭での在り方などアドバイスさせていただきます。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3						
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3						
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				3		⑨同上	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3						
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3						
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3					・LINEでのやり取りがとても助かっている。頻繁に情報も受け取り、安心できる。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2				1		鍵付きのロッカーを使用し、個人情報の保護に努めております。また社内研修を行うことで、職員の意識向上を図っております。
	非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3					
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3						
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3					・担当の先生とも相性よく、毎週を楽しみにしている。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3					・子どもだけでなく、親子で支えられている。いつでも相談を受け入	

							れてくれる為とても有 難く思っている。	
--	--	--	--	--	--	--	------------------------	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。